



熱き想いを持って 未来へ。。

南砺市長 田中 幹夫

今年の冬は雪が少なくて。。。。

楽だった方。スキー場や除雪隊の皆さんは物足りなかったかも。また、春から夏にかけて水不足を心配する人も。いろいろだったでしょう。

そしていつものように新年度が始まり、早1ヶ月が経とうとしています。

昨年度は二つの大きな計画について方向性をお示しました。2060年までのシミュレーションで人口減少という大きな課題に向かって「南砺市幸せなまちづくり創生総合戦略（五カ年）」を予算確保も含めて策定しました。

もう一つは、2045年までに財政と公共施設維持存続経費のシミュレーションを行い今後の公共施設のあり方を示し「第2次公共施設再編計画」も策定させて頂きました。公共施設再編には分庁舎方式から統合庁舎への転換も含まれ。さらに現在市立2病院についても「第2次市立病院改革プラン」を策定中です。市民の皆さんへの確かで暖かい医療を維持しつつ経営についても持続できる体制について議論を進めています。

これら二つの計画は表裏一体で進めなくてはなりません。行財政改革を進めつつ取捨選択と優先順位示し、未来が開ける南砺市像を作り上げていかななくてはなりません。

合併して11年半、南砺市は確実に市民力がアップし、まちづくりに活気が出てきています。南砺版地域包括医療ケアシステムの理解度も増し、まちづくりとして取り組みも広がってきています。そして新たに南砺から地方の未来を創り、発進する「エコビレッジ構想」も着実に浸透してきています。他の事業に関しても市民のみなさんと協働で確実に塾度が高くなっています。このような取り組み

が間違いなく市民幸福度と満足度を高め、急激な人口減少問題の解決に結びつくものと信じています。

私の1丁目1番地「市民の幸福度と満足度を高めたい」「生まれて来て良かったまち 南砺の創造」をもっと進め、将来我々の孫子の代にまで負債を残さない、明るい未来が広がる心豊かな故郷南砺を築くために今を生きる私たちが課題の先送りをすることなく前進していく強い決意をしました。

3月定例会の代表質問を受け「市政を担う熱い想いは本物か？初心を忘れているか？ブレていないか？南砺の未来を描けているか？そう自問自答を繰り返して参りましたが、ここへ来て更なる大きな決心をいたしました。」と次期市長選挙（2期目の任期 11月27日）において三選を目指し邁進することを決意表明させて頂きました。

南砺市の未来は課題はありますが、市民の皆さんと共に考え、行動し確実に課題解決の方向性を見出し前進してまいります。

後援会の皆様には日頃から物心共に大変お世話になっておりますことに心より感謝申し上げます。また今後とも今まで以上のご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。



「結」コラム

「農村文明と環境生命文明」



世界で最も貧しい大統領と言われるムヒカ ウルグアイ元大統領が話題になっています。
「物欲よりも愛情豊かな生活が人を幸福にする」
「発展とは幸福の邪魔をするものではなく、幸福をもたらすものでなくてはならない」
と現代の消費主義社会に警笛を鳴らしたのです。

先日「農村文明社会の創生を目指す首長会議」を立ち上げるべく準備フォーラムに参加してきました。

「農村文明」とは何ぞや？そこからです。文化ではなく文明なのである。当日参加の有識者の皆さんのコメントをいくつか紹介します。

「世界には多くの民族があり、文化がある。
文化が他の地域の民族に受け入れられて広まる、つまり
広まる文化、憧れられる文化が文明である。「日本に息
づいている文化」こそが多様な自然において営まれた日
本。農村文明の創生こそ重要だ。」

(川勝静岡県知事講演より)

「西洋文明が輝いた時代は終わったと西洋の人は気づき
始めている。
これからの世界は東洋文明に注目している。その東洋文
明とは歴史と伝統文化が残っている日本の事となるのだ。
そしてそれは日本の農村なのだ！」

(安田喜憲先生スピーチより)

「世界の課題解決策は日本人の昔ながらの暮らしぶりにある。農村文明だ。農山漁村の暮らしこそ重要。
次の時代は間違いなく農村文明。日本人の昔ながらの農山村にある暮らしぶり。他人のことも思う心。利他がある。
農山村をだめにすれば都市もだめになる。みんな気がついてはいるが動けない。グローバリゼーションに勝ち抜く国になる
ために農村を壊すようなことは絶対してはいけない。農山漁村を守るべきだ。」

(椎川 忍氏スピーチより)

もう一つ環境省が提唱する「環境生命文明社会」というのがある。

「環境・生命文明社会の反対側にあるのが物質資源型の社会。僕たちは豊かさを求めるために、今までは地下資源エネ
ルギーを湯水のように使って、成長し、豊かになってきた。これを続けていいのかというと、いろんな限界が見えている。

しかし、僕たちは豊かになりたい。我々はその豊かさをどこに求めるんだろうといったときに、新しい価値観を作らない
といけない。エネルギー資源の使用量は制約されるが、その中で我々が豊かさを考えたときに、やっぱり自然の循環とか、
持続可能な世界をつくっている自然とか、そういうものにもう一度視点を移す、足場を変えることが、環境・生命文明社会
だろう。」

(石田秀輝前東北大学教授)

この最近私たちが発する二つの「文明社会」とムヒカ元大統領が言っていることと、「農村文明」「環境生命
文明」を論じる皆さんの言葉は同じことを語っている。大きな課題だが、地方が力を合わせてこの「農村文明社
会」「環境生命文明社会」を国民運動として広めていくことが重要だと感じたのです。

南砺市としては「小さな循環からの地域デザイン」をエコビ
レッジ構想のもと進めてきている。モノの豊かさより心の豊かさを
求められているこの時期に南砺の子供たちにしっかりこの二つ
の文明社会を理解して頂き、さらに市民幸福度・市民満足度を高
めていくことこそが現在の課題を解決する「地方創生」に繋がる
のだと確信した。

最後に最近目からウロコの課題解決への変革プロセスをご紹介します。

8段階の変革プロセス
John P Kotter (ジョン P コッター)

- 1、危機感を高める
- 2、コア・グループを作る
- 3、ビジョンを掲げ、イニシアチブを決める
- 4、志願者を増やす
- 5、障害物を取り除く
- 6、早めに成果を上げて祝う
- 7、加速を維持する
- 8、変革を体質化する



南砺市のまちづくりイメージ図

南砺のまちづくり

私たちは次代に何を残すのか？

次期総合計画

市民がどんな街を望むのか？
総力戦で考える

「産官学芸労言」連携

地域の個性を核に自立へ（石破大臣）

地方は自ら稼ぐ力を身につけ、
中央に頼らず自立していく。

従来の取り組みの延長線上ではない
次元の異なる大胆な政策

「結い・土徳」大黒柱

地方創生

都会化しないまち

まちづくり基本条例（情報共有・市民主体・協働）

山間過疎地域振興条例

交流観光まちづくり
移住・定住促進事業
雇用創出 空き家対策
起業家支援 農業と地産地消

中小企業・小規模事業者振興基本条例

伝統工芸などモノづくり
三世代同居促進事業
有るモノ磨き ICT
地域内経済循環
ラストチャンス
地方に人材を集める
プランナーよりプレイヤー

屋根

儲かる仕組み

事業

予算

施策

市民幸福度・満足度の向上

地方創生事業（人口ビジョン・総合戦略）

梁

ヒト
自然
伝統
歴史
文化
食

芸術文化
創造都市

ケア・健康
地域包括医療

地方創生キーワード

地域で稼ぐ

強みをとことん、課題をチャンスに変える行動力
ヒトづくり
量から質へのギャチェンジ
土地と文化を守る
場所の持つ価値を高める懐かしい未来の創造
ストックの再生 言い訳はしない

クリエイティブ
ビレッジ

健やか子育て
・教育

柱

エコビレッジ構想（新しいライフスタイルの提案）

基礎

安全・安心・市民主体の協働のまちづくり

健全な市政運営・財政運営（公共施設の再編）

基盤

南砺幸せなまちづくり創生総合戦略

基本目標

心豊かな「結い^{注1}」と「土徳^{注2}」のまち創造

心豊かで安心して暮らすことができる社会を実現する

数値目標

- 年間婚姻数220件（H26/176件）
- 合計特殊出生率1.60（H25/1.44）
- 住み続けたいと思う市民の割合80%（H26/72.3%）

講ずべき施策の方向

(1) 結婚・出産・子育て・教育の支援

- 結婚、妊娠、出産、子育て、教育の総合的な支援により、安心して子育てできる環境を整える。

(2) 地域共助の確立

- 市民が共に支えあい、住み慣れた地域で生きがいと喜びを感じ、健康に暮らし続けられる地域をつくる。

多様な仕事を育む地域課題解決のまち創造

「やりたいこと」が「できる」地域を実現する

数値目標

- 若者、女性の就業率50.0%（H26/46.6%）
- 新規起業（家）数 5年間100件（年間新規起業数H26/15件）
- 南砺市ブランド商品年間販売額20.0億円（年間販売額H26/18.2億円）

(1) 若者と女性がいいきと輝いて活躍できる環境の整備

- 「やりたいこと」が「できる」、多様な魅力的な起業環境整備や就業支援を推進する。

(2) 中小企業活性化、創造型産業構築

- 地域の雇用と経済を担う既存産業の成長を支援し、企業とともに歩むまちづくりを推進する。

(3) 地域の伝統資源の活用、ブランド商品開発

- 本市の強みである伝統工芸技術と地域資源の融合等による新たな地域ブランド商品の開発を図る。

南砺版エコビレッジによる新しいライフスタイルのまち創造

地域資源を活用・循環させワクワクする「懐かしい未来^{注3}」を実現する

数値目標

- コミュニティの維持 自治会354、獅子舞104団体（H26/自治会354、獅子舞104団体）
- 再生可能エネルギー導入容量 熱1,700GJ、電気4,500kw（H26/熱595GJ、電気2,467kw）
- 縮減公共施設有効活用面積39,000㎡以上

(1) 地域コミュニティの堅持（協働型社会の構築）

- コミュニティの結びつきを生かし課題解決にあたる協働型社会を構築する。

(2) 循環社会と新たなライフスタイルの構築

- 地域資源を生かし、自然と人が共生できる循環型社会と新たなライフスタイルを構築する。

(3) 行財政効率化の推進

- 行財政を健全経営し、効率的で効果的な財政投入により、活力と魅力ある南砺をつくる。

文化・芸術・景観・ひとが紡ぐ交流のまち創造

ひとと出会い、ひとと深くつながるまちを実現する

数値目標

- 転入者数年間50人増
- 転出者数年間50人減（H26転入1,012人、転出1,242人）
- 貢献市民の人数800人獲得
- 提携大学数6大学（H26/提携大学数1大学）

(1) ひとと出会い、ひとを呼び込む

- ひととひととを結び、出会いから得る刺激を原動力に、若い世代がまちを創る。

(2) 交流人口・貢献市民^{注4}の拡大

- 地域資源の魅力を生かし、交流人口や貢献市民が滞在するまちを造る。

(3) 大学、民間企業等との連携の推進

- 大学や民間企業等と連携し、その知見と人材を活かして地域の課題解決を図る。

注1 結い：おかげさま、お互いさまといった相互扶助の仕組み 注2 土徳：利他（りた）、もったいないといった感謝の心を大切にする精神風土

注3 懐かしい未来：人と人、人と自然、そして内なる自分とのつながりを深めながら、持続可能な幸せを実現するコミュニティの形成 注4 貢献市民（仮称）：市外に住みながらも、南砺市を想い、集い、実践される方

南砺の大地に8つの根を張って、
しっかりした幹が、未来の
大きな実りをもたらせます。



田中幹夫 男の公約

みきお

第7回 ゴルフコンペのご案内

日時 平成28年0月00日(土)

場所 トナミロイヤルGC

参加費 5,000円

プレー代 各自でご精算下さい

募集人員 200名(50組)

表彰式は18時より
福光中央会館にて
行います。



今後のお知らせ

第8回YUICUPパークゴルフ大会

10月0日(日) 午前9時スタート【予定】

場所 IOXアローザ

会員
親睦会

利賀ど〜んと山祭り【予定】

10月00日(土)

『なんと結いの会 平成28年会費』のお願い

- ・田中幹夫本人が代表を務める唯一の政治資金管理団体です。
- ・会員は個人とします。
- ・年会費は、1口1,000円からとし上限は30口30,000円までとします。
※田中幹夫の政治活動を資金面においてご支援賜りますようお願いいたします。
※会員入会のお申込みについては、田中幹夫事務所にお問い合わせください。

振込先

○なんと農業協同組合 西部支店
○福光農業協同組合 本店
○となみ野農業協同組合 井波本町支店
○北陸銀行 井波支店
○富山銀行 井波支店
○ゆうちょ銀行

普通0019676
普通0060584
普通0013388
普通6003170
普通2116098
00750-9-76579

なんと結いの会
なんと結いの会
なんと結いの会
なんと結いの会
なんと結いの会
なんと結いの会

会員には年2回発行の
会報誌をお届けします



なお、振込手数料は各自にてご負担いただけますようお願いいたします。

田中幹夫事務所

〒932-0231 南砺市山見 746-3
TEL 0763-82-5296
FAX 0763-82-5294

田中幹夫オフィシャルサイト

URL ■ <http://www.tanakamikio.jp>

E-mail ■ office@tanakamikio.jp

田中幹夫後援会HP

■ <http://kouen.tanakamikio.jp>

